

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金・・・翌期に支給する賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

該当するものはない。

② 重要性の乏しいリース取引については、賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

変更なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,996,940,652	117,600	290,351,965	1,706,706,287
普通預金	3,059,348	290,234,365	0	293,293,713
小計	2,000,000,000	290,351,965	290,351,965	2,000,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	90,727,557	13,209,482	4,003,200	99,933,839
周年事業積立金	36,022,047	358	0	36,022,405
小計	126,749,604	13,209,840	4,003,200	135,956,244
合計	2,126,749,604	303,561,805	294,355,165	2,135,956,244

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	1,706,706,287	(1,706,706,287)	(0)	-
普通預金	293,293,713	(293,293,713)	(0)	-
小計	2,000,000,000	(2,000,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	99,933,839	-	-	(99,933,839)
周年事業積立金	36,022,405	(0)	(36,022,405)	-
小計	135,956,244	(0)	(36,022,405)	(99,933,839)
合計	2,135,956,244	(2,000,000,000)	(36,022,405)	(99,933,839)

5. 担保に供している資産

該当するものはない。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当するものはない。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	86,027,164	0	86,027,164
合計	86,027,164	0	86,027,164

8. 保証債務等の偶発債務

該当するものはない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第153回利付国債	192,152,937	205,485,000	13,332,063
第159回利付国債	196,242,550	193,295,200	△ 2,947,350
28年度4回北海道公募公債	100,000,000	99,620,000	△ 380,000
千葉県第28回20年公募公債	100,000,000	88,990,000	△ 11,010,000
兵庫県第40回20年公募公債	100,000,000	90,610,000	△ 9,390,000
千葉県第30回20年公募公債	100,000,000	90,760,000	△ 9,240,000
埼玉県第8回15年公募公債	100,000,000	99,310,000	△ 690,000
第329回利付国債	209,980,400	210,441,000	460,600
第329回利付国債	313,000,000	313,615,358	615,358
第147回利付国債	295,330,400	328,836,500	33,506,100
合計	1,706,706,287	1,720,963,058	14,256,771

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替	15,750,850
合計	15,750,850

11. 重要な後発事象

該当する事項はない。